

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2018年度 助成者)

作成日 2018年 9月 17日

氏名 (フリガナ)	青沼 可也 (アオヌマ カヤ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2018年8月13日 (月) ~ 8月18日 (土)
大学名	京都大学
学年	6

この度は、医学部夏期集中医学英語研修への参加および助成を許可くださり、誠にありがとうございます。マッチング試験の、文字通り「直前」でありましたが研修とマッチング試験の両方が終わった今でも、参加を決意してよかったと心より思っております。その理由は幾つかあります。

一つはハワイ大学の医学生のレベルの高さを直接肌で感じることで刺激を受けられたことです。毎日夕方5時からのハワイ大学の学生さんとの医療面接の練習は、率直に申し上げて勿論ハードなものでしたが、いざ始めてみると毎回あっという間に終わりの時間になるほどに集中して取り組むことができましたし、ハワイ大学の学生さんの思考力の深さ、プレゼンテーションの経験値、医学的知識のすべてに感銘と刺激を受けることができました。自身の6年間の大学生活に悔いはないですが、積んできた練習の仕方の違い、勉強の方法の違いを痛感したのは確かでしたし、この経験を4年生や5年生の頃にしていたらまたその後の1年2年の過ごし方は違うものになったかもしれないと思います。それでもなお、たとえ6年生の時だとしても依然として貴重な経験であり、それが帰国後の勉強の姿勢や考え方に良い影響を与えているのを感じております。

二つめは、現地で働くハワイ出身の先生および日本出身の先生の医師としての在り方を直接見聞きすることができたことです。日本で過ごしては、いくら講演会などに参加しようとも「海外で働く」ということが漠然としかイメージできないのが現状ですが、やはり実際に働いてある先生方の生の声、現在進行形の体験をお聞きすることは非常に自身のキャリアを考える一助となると感じました。長く臨床で活躍された後に教育者として、このような研修プログラムで医学生に授業を行うことは非常に魅力的でやりがいがあることだと思いましたが、以前より教育に興味があったこともあり今回その感覚がより強まったように感じました。

最後に、全国の素晴らしい医学生と交流できたことを忘れずに記しておきたいと思っております。お互い20年弱の人生ながら、それぞれがこれまでに色々な体験をし、そこから考えたこと感じたこと、そして今後の将来について思うことを5日間という短い期間ながら共有しあえたことは大変に濃く楽しい思い出です。帰国後もぜひ、折にふれて考えや経験を共有したいと思える友人に出会うことができ非常に幸運でした(先日実際に再会を果たし楽しい時間を過ごしました)。

以上、実際の思いを伝えるには簡便なものになってしまいましたが、上記のような素晴らしい体験ができたことはひとえに今回の研修および助成プログラムのお陰であり、心より感謝申し上げます。

この経験を胸に来年度より医師として日々精進したいと思います。